



NO. 659  
発行  
09・4月1日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部



# 春闘学習白会

出向先の  
労働条件について  
直接交渉できないか

答弁)使用者は賃金や指揮命令系統について幅広い概念がある。賃金をもらっているから交渉はできる。プロ野球の選手会は個人事業主でも団交は可能だ。現場で働いている労働条件については、出向先でも団交はできる。



ないと団交拒否違反になる。



直接交渉  
したい

設備メンテへ外注化が実施され  
七年半が経過している。  
工務関係(マルチ)の台数が減っ  
ている。(一〇数台減) 要員も  
一〇名から八名くらいに減った。  
検査グループと工事グループの要  
員が減って統合された。  
勤務など労働条件について直接  
交渉したいと議論してきた。エル  
ダー社員の働く場の確保として考  
えているがJRの職場で要員を確

# 質疑・討論

## 地本からの提起



関川書記長

出向先会社の実態 出向者とプロパー  
が同じ仕事をしている。運転職場の構内が  
外注されようとしている。外注化が進み安全  
問題が軽視されている。工場も丸投げされ  
ている。

安全総点検の実施について 手引きの  
作成について本部で企画するよう要請した。  
外注化の拡大について法に違反していない  
か調査していく。労基法・労安法・請負や  
職安法など含めて幅広く調査を実施してい  
く。



保して欲しい。  
出向会社では良い線路が作れな  
い状況だ。出向会社は施行のプロ  
でJRは管理のプロ。しかし線  
路が良くなならない。

直轄に戻せないか



何とか直轄に戻せないか  
思統一が、なかなかできない  
ローパーの数がアンバランスだ  
七  
年半も経ってしまつと難しい。  
設備メンテ21検証委員会を立  
ち上げた。人身事故が多く発生し  
ている。これは外注化したからで  
はなく労働環境・労働実態から発

生するのではないか。  
設備メンテ21関係で事故が多  
発している。直轄への見直しの話  
が出ています。

昔と違う  
すぐに改善  
されないと

管理室を復活させる話が出され  
ている。線路のメンテナンスタ  
について悪くなるとすぐに改善され  
ていたが、今は言うまで良くな  
らない。昔と違う。昔は言う前に改  
善されていた。現状は違っている。  
線路のエリアの拡大や出向会社  
は工事費が高い工事はするが、金  
にならない工事はしない。



外注が進むと  
現場はどう  
変化するか



外注化が進むと現場はどう変化するか。人荷も職場も同じだが外注化されると、車両の故障に対してJRの時は故障の原因について追究し改善を図るが、外注になると自分達の車両という感覚が無くなるので修繕はするが、そこまでやらなくなる。

プロパーが増えて  
職場は厳しい

テムズでは、出向者が多い時期は職場の設備など、いろいろ優遇されていて要求すると会社は品物を買ってくれた。出向者の人件費についてJRは、半分支払っているのだから余裕があったが、これからプロパーが増えていくと職場は厳しい状況になる。



まとめ～ 関川書記長

外注化の問題について

歯止めをかけていく。  
拡大について根本的に見直しをしていく。  
具体的な方針について地本で議論していく。  
外注先へ直接交渉を考えていく。エリア本部は出向会社で分会組織の結成 3名以上で分会を結成し労組法に基づき交渉をしていく。

## 編集後記

一号にわたって学習集会の特集をしました。職場の外注化はこれから運転職場でも拡大していく状況があります。

貨物会社ですすでに構内業務も外注化になっていきます。何とか現場での安全総点検や、調査活動を実施していく中で、これ以上の外注化の攻撃をやめさせていきましょう。



Welcome To JR 東日本  
入社おめでとう



国労に  
加入しよう

国労は一人の困難を 皆で解決



国鉄労働組合東日本本部  
こもりのQRコードから

国鉄労働組合東日本本部  
<http://www.e-nru.com>

国労新潟地方本部

国労は一人の困難を皆で解決

国労に加入しよう

